

事業報告書

アユモドキの保全と京都サンガの応援事業実行委員会

1. メニュー名	(1) スタート事業 (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	アユモドキの保全と京都サンガの応援事業
3. 実施場所	亀岡市内各所（街頭、市民体育館、競技場、資料館、自治会、市役所他）
4. 実施期間	平成 28 年 5 月 10 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日
5. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。（日時、場所、参加者数、内容など）
<p>昨年度、公募により決定したロゴマークをいっそう普及するために、ネーミングとしての愛称を募集しました。募集の案内は亀岡市の広報誌「きらり」、京都新聞、みんなのネットワークのWEBなどを通じて7月1日から9月4日にかけて約2ヵ月余りでしたが、全国から74件の応募がありました。応募の締切り後、9月26日（月）に審査会を開催しました。審査員は保津町自治会長塚田 勇様、NPO 法人 ナルク亀岡（丹の里）事務局長西本 郁子様、生ごみでおいしい野菜と美しい花を育てる会代表田中 春美様、京都パープルサンガ ホームタウン推進部長鶴羽 健大様、亀岡市 まちづくり推進部長桂 政彦様の5名、他に事務局としてNPO 法人みんなのネットワークの関係者が出席しました。その結果、応募作品の中から「アユモドキーパー」を選びましたが、審査会ではより親しみやすい愛称とするため「くん」を取って追記することになり、正式名称として「アユモドキーパーくん」とすることを決定しました。なお、入賞作品として大阪府八尾市宮崎 英明様と神奈川県川崎市鈴木 律太様の応募が選ばれました。</p> <p>これに基づいてロゴマークのシールを作成し、これを関係団体、民間企業、行政機関などに重点的に配布することにより、「アユモドキーパーくん」の普及を図っており、多くの関係者から概ね好評を得ています。</p> <p>以上の事業の取組みに係わる参考資料を併せて添付致します。</p>	
6. 成果	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>「アユモドキーパーくん」は京都新聞などのメディア、そしてみんなのネットワークのWEB、さらにはシールの配布などを通じて広く市民に浸透しつつあり、多くの市民にとってアユモドキの価値感などが共有される機会になっているものと思われます。アユモドキの生息の保全は、すべての市民にとって共通の願望であり、サッカーチーム京都サンガの応援と共に確保されるべき課題であります。この事業を通じて、市民の参加意識・気運が高まり、自然環境保全や京都スタジアム（仮称）を核とした賑わいづくりなどに資することになっています。</p> <p>なお、「アユモドキーパーくん」のシールの配布はもっぱらPR用として作成したものであり、地元特産品の包装などへの活用への推進は今後の課題になっています。</p>	

7. 協働の効果	<p>※市民連携事業、行政連携事業のみを記入ください。 事業を協働で実施したことによる効果について、数値や具体例などを交えながら具体的に記入してください。</p>
<p>市民団体が単独でこの事業に取り組むよりも、行政側と連携して取り組むことにより事業の広範性を実現することができたほか、事業コストも節減することができました。事業の広範性としては、随所で行政側の関係部課から適切なアドバイスを経たことで事業の推進が円滑になったほか、広報上の協力などもありました。経費の節減に関しては、ロゴマークの愛称の募集段階のみならずロゴマークのシール配布においても市側の協力を得られたので、結果としてチラシなどの作成経費を計上せずに済んだこと、さらに市役所の会議室の利用などを含めて、結果として経費の節減につなげることができました。</p>	
8. 今後の展開	<p>事業の実施成果を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。</p>
<p>希少生物「アユモドキ」の保全は生息地としてとりわけ取り組むべき課題であり、折しもこの度、市の魚として指定されたこともあって、その機運をいっそう高める段階にあるといえよう。その保全にむけた取組としての資金は行政ベースばかりでなく、民間ベースでも工夫されるべきであり、これを市民、さらには全国からの寄付を呼びかけることを検討したい。その1つの方法として動画の発信が考えられる。寄付の呼びかけは団体のWEBはもとより目下、検討されている(仮称)「亀岡基金」の枠内を利用することで地域の一体的な取組になりえよう。その際に「アユモドキーパーくん」はイメージキャラクターとして利用されるほか、やがてスタジアム来場者などを対象にしたグッズ販売を通じる寄付の確保につなげることが考えられます。</p>	

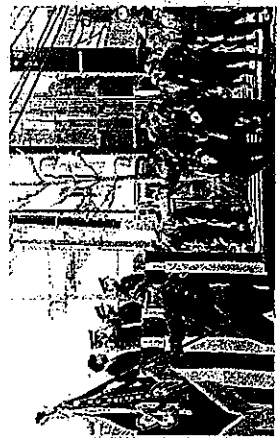
遊・You・かめおか

～ 1月のイベント情報～

亀岡市消防出初式 1月8日 午前9時～11時30分

「防災ゼロ」への決意を新たにすため、亀岡市消防出初式を行います。

- 内容
 - 式典(亀岡中学校体育館)
 - パレード(市道紺屋停車場線)
 - 一斉放水(南郷公園)
- 問い合わせ
 - 自治防災課消防係 ☎22-0119



▲市中華パレードを行う消防団員(平成28年)

第2回亀岡市立病院健康講座

1月28日 午後2時～3時

- 加齢による体の変化と予防について、看護検査・リハビリの視点からお話します。
- ところ 市立病院2階ウエルネスホール
- 定員 80人(先着順)
- 入場無料(申し込み不要)
- 問い合わせ 市立病院地域連携室 ☎25-7313(代表)



▲第1回講座の様子

ことを見て体調調ります。今回、ただたことは「す」と話され

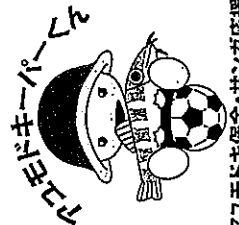
亀岡が全国におお召し上が



高野直也氏「アエトキ」

「アエトキ」パークくんをさがし！

「京都スタジアム(仮称)」の建設地である亀岡市において、希少生物アエトキの確かな保全と京都サンガFCの応援に向けた取り組みを、「アエトキの保全と京都サンガの応援事業実行委員会」が進められています。この取り組みの環として、同委員会では、市民の皆さんや「京都スタジアム(仮称)」の来場者に愛さ



アエトキ保全・サンガ応援

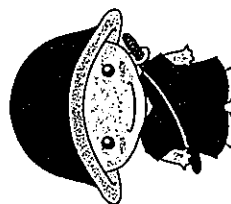
れるロゴマークと愛称を公募により決定。愛称の募集には、全国から74作品が寄せられました。同マーク(上図)の愛称となった「アエトキパークくん」は、アエトキを保全(キープ)することと、サッカーのイメージを重ねて応募された「アエトキパーク」に、親しみをもってもらうため、審議会において「くん」が付け加えられたものです。皆さんぜひ、「アエトキパークくん」をアエトキの保全と京都サンガFCの応援のシンボルとして可愛がってください。

広報クイズ



霧の中に発生する太陽が複数あるように見える珍しい現象は何でしょうか。

ヒントは、広報紙の中にあります。締切日 平成29年1月31日(火) (必着)



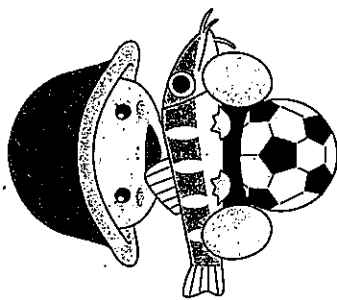
明智がめまる

●ハイ！広報広聴係です●

明けましておめでとございませす。いつも「ナリウ女電園」を愛読いただきありがとうございます。今年も、市内各地の話題や市政情報を皆さんにお届けするためスタッフ一同、一所懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。今回は新春特別企画として、私の好きな「朝霧」の風景を掲載しました。編集をしながら、自然が亀岡盆地にわたらす現象が人々の生活を包み込み、ふさふさの原風景として大きな印象を残していることをあらためて感じました。これまで「アエトキ」で語られることのあった「朝霧」も、見方を変えれば魅力として捉えることができます。そして霧のあとには、抜けるような青空。これが亀岡の冬の朝です。このようにいつもプラス感で、今年も色んなことにごチャレンジしていきたいと思ひます。

(小林)

はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙「キラリ☆亀岡」の感想を書き、〒621-8501(住所不要)市秘書広報課へ。正解者の中から抽選で5人に図書カードを差し上げます。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。【前月の答え】「イクボス」でした。【イクボス】は、たくさんのおはがき、ありがとうございました。



▲公募の最優秀作品

愛称の募集をします!

「京都サンガ F.C.」を応援すると共に、国の天然記念物、希少生物のアユモドキの確かな保全にむけ、寄付付きグッズを開発することになりました。このグッズに使用するロゴマークのデザインが公募により決定しました(左図)。このロゴマークについ

て親しみやすく、覚えやすい愛称を募集します。

応募先はガレリアかめおか3階、かめおか市民活動推進センター内特定非営利活動法人みんなのネットワーク「ロゴマークの愛称募集」係まで。応募締切は9月4日(日)必着」となっています。

※応募方法など詳しくはNPO法人みんなのネットワーク <http://www.ayumodoki-sanga.jp/> (☎070・6922・5132) へお問い合わせください。

アユモドキを守ろう!

亀岡の環境のシンボル



▲約60人が参加したアユモドキ救出活動

亀岡市には、国の天然記念物で絶滅危惧種に指定されている淡水魚「アユモドキ」の、全国でも数少ない生息域があります。

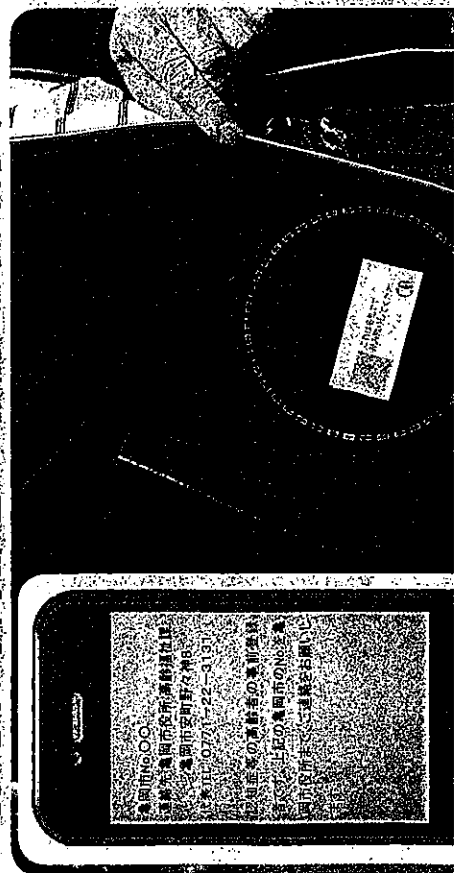
アユモドキは、川の増水をきっかけに一時的水域で産卵する習性があります。6月初旬に農業用の可動堰(ゴム製)が立ち上げられると、ダム上流で水位が上昇し、川岸の草木が水に浸かった場所で産卵します。一方、下流には自力で遡上できないアユモドキが取り残されるため、救出する活動を実施しています。

6月5日、地元の保津町自治会の皆さん、環境省、京都府、NPO、亀岡市などが協

働でこの救出活動を行いました。今年も、アユモドキを保護。アユモドキは、繁殖のためにダム上流にまた、調査の偏りなく親魚を確認。良好な状態にあるものとあわせて、ダム上流を防止するためのロールを実施。生息する環境を知り啓発を行う。亀岡市ではアユモドキの調査、保護、生息域の保全に取り組ま

高齢者の皆さんの安全のために

～認知症等高齢者の事前登録受付中!～





「アユモドキーパーくん」

ロゴマークの愛称決定！！

ホームタウンとして京都サンガを応援したい！！
希少生物のアユモドキを応援したい！！

そんな思いのいっぱい詰まったイメージデザインを募集してるサイトです

2016年9月30日（金）までのロゴマーク愛称のご応募のお礼はこちら (naming-examination-index.html)

2016年9月4日（日）までのロゴマーク愛称募集のページはこちら (naming-index.html)

ロゴマークの愛称が決まりました

最優秀 「アユモドキーパーくん」

作品 ※2点の応募作品は「アユモドキーパー」でしたが、
審査会ではより親しみやすい愛称とするため「くん」を取って追記
することにしました。
なお、応募件数は74件と、多くの皆様からご応募頂きました。お礼
を申し上げます。

入 選 大阪府八尾市 宮崎 英明様

者 神奈川県川崎市 鈴木 律太様

※同作品2名の受賞

作者か アユモドキを保全（キープ）するということと、サッカーの
らの イメージを重ねました。
言葉

審 査 2016年9月26日（月）に

会 アユモドキの保全と京都サンガの応援事業実行委員会にて厳
正に審査しました。

ロゴマークの大きな画像はここをクリック



